

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	危機管理体制の強化	施 策	①危機事象に応じた危機管理体制の構築
			施策の小項目名	○危機管理体制の構築
主な取組	特定家畜伝染病危機管理対策		対応する成果指標	危機管理マニュアル等作成数
施策の方向	・ 様々な危機事象から県民の生命や財産を守るため、本県で新型コロナウイルス感染症や豚熱等が拡大した経験を踏まえ、想定される危機事象ごとに、対応する行動計画を時系列で整理した「タイムライン」の策定など、危機管理体制の構築に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
本島北部地域、本島中南部地域、宮古地域および八重山地域で特定家畜伝染病の発生に備えて必要な防疫資材を備蓄する。また、定期的に防疫資材を確認し、必要に応じて補充する。	県	特定家畜伝染病の発生に備えた防疫資材の備蓄		
		防疫資材の備蓄箇所数(内訳)		
		4箇所	4箇所(継続4箇所)	4箇所(継続4箇所)
担当部課【連絡先】	農林水産部畜産課	【 098-866-2269 】	関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

家畜伝染病予防事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

各省計上

直接実施

133, 651

149, 955

令和7年度活動内容

4 箇所に備蓄した防疫資材の管理・更新した。

予算事業名

家畜衛生技術指導事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

各省計上

直接実施

13, 368

6, 962

令和7年度活動内容

防疫演習を本島北部地域、本島中南部地域、宮古地域および八重山地域で各 1 回行った。

(単位：千円)

予算事業名

家畜衛生技術指導事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

各省計上

直接実施

249, 078

令和8年度活動計画

4 箇所に備蓄した防疫資材の管理・更新。

予算事業名

家畜衛生技術指導事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

各省計上

直接実施

10, 685

令和8年度活動計画

防疫演習を本島北部地域、本島中南部地域、宮古地域および八重山地域で各 1 回行う。

活動指標名

防疫資材の備蓄箇所数（内訳）

R7年度

進捗状況

活動概要

R5年度

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

実績値

—

—

4箇所

4 箇所

100. 0%

順調

4 箇所で初動に必要な防疫資材を確認し、更新した。

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
防疫資材の備蓄箇所数について、目標値 4 箇所に対し、4 箇所（本島北部、本島中南部、宮古、八重山）において不足する資材や資材の使用期限等を確認し、更新した実績があったため「順調」と判断した。また、高病原性鳥インフルエンザのシーズン前（10～11月）や防疫演習の前に実施した棚卸し作業を取組の効果と判断した。	
（2）これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
国内外の特定家畜伝染病の発生状況を周知するとともに、県では特定家畜伝染病発生時に必要資材の種類や量について検討し、年間を通して備蓄に反映させる。	「家保だより」やホームページ、メーリングリストを活用し、国内外の特定家畜伝染病の発生状況について市町村や生産者団体等に対して情報提供した。 また、防疫演習を各家畜保健衛生所および畜産課で実施し、初動防疫における必要資材の種類や量を検討した。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	家畜伝染病は世界的な流行が変化するため、情勢に応じて対応する必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	農林水産省のHPから海外や国内の家畜伝染病発生状況を随時確認し、関係機関や生産者へ情報共有する。また、本県への侵入リスクが高まった場合は農家説明会等を実施する。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	危機管理体制の強化	施 策	①危機事象に応じた危機管理体制の構築
			施策の小項目名	○県内企業の「事業継続計画」策定に向けた支援
主な取組	漁業地域BCP策定の支援		対応する成果指標	危機管理マニュアル等作成数
施策の方向	・自然災害や新型コロナウイルス感染症等のリスクが発生する中、事業の継続や早期復旧を目的とした「事業継続計画（BCP）」の策定については、国や商工会等の関係機関と連携し、県内企業の策定に向けた支援に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
災害時に水産物の生産・流通を早期に再開するため、水産物の流通拠点となる漁港で漁業地域BCP(事業継続計画)の策定を支援する。	県,漁協等	拠点漁港におけるBCP(事業継続計画)の策定支援		
		策定支援件数(内訳)		
		1件	1件(継続1件)	1件(継続1件)
担当部課【連絡先】	農林水産部漁港漁場課		【 098-866-2305 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

計画調査費

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

県単等

委託

0

2, 838

令和7年度活動内容

1 地区で漁業地域BCPを策定した。

予算事業名

計画調査費

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

委託

6, 700

令和8年度活動計画

1 地区で漁業地域BCPの策定を検討する。

活動指標名

策定支援件数（内訳）

R7年度

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

—

—

1件

1 件

100. 0%

順調

令和7年度は、1 地区で漁業地域BCP策定した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値 1 地区に対して実績値 1 地区となっているため、進捗状況は「順調」と判断した。引き続き、優先度の高い漁港において、BCP策定の支援を進めていく。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

○対象地区の優先度を設け、関係者間で密な連携・調整を実施する。

○設定した優先度の中から順位の高い地区において、関係者間で密な連携・調整を実施し、1 地区のBCPを策定した。

- 5 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	引き続き対象地区におけるBCPの円滑な策定支援に向け、地区毎に優先度を設ける必要がある。	⑧ その他	関係者間で密な連携・調整をし、対象地区の優先度を設ける。